

塩田地域協議会会議録（第5回）

日 時 平成19年1月26日（金） 午後1時30分から3時40分

場 所 塩田公民館 2階ホール

出席委員 大口委員、岡村委員、工藤委員、小山委員、塩入委員、中沢委員、西澤委員、林委員、南委員、平林委員、峯村委員、宮入委員、宮沢委員、山極委員、若林悦郎委員、若林陽子委員、渡辺委員（17名）

市側出席者 小林上田地域自治センター長、甲田塩田地域自治センター長、古川塩田地域自治センター庶務企画係長

1 開 会（塩田地域自治センター長）

2 会長あいさつ（大口会長）

お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。2回にわたって委員の皆さんの意見を聞いてきたが、それを踏まえたのがお手元の資料。2月9日に答申がありますので、本日まとめていただいて、作っていききたいと思う。塩田は課題が多いが、今日の会議はできるだけ早く進めていききたいのでよろしくお願ひしたい。

3 会議事項（進行：会長）

（1）第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について

（会長）事務局から説明を。

（塩田センター長）資料により説明

地域の特性と発展の方向性についてまず確認いただきたい。（朗読）全体の方向性として持っていきたい、まずこれについてご協議いただきたい。

（会長）委員の皆さんのご意見をお願いします。発展的意見のある方は進んでお願ひしたい。どうですか。

（委員）これで結構かと。

（委員）これでよいと思うが、もう少し時間がほしかった。経過の中ではこれでよいと思うが。

（会長）先日の正副会長会でもそんな話があったが、今回についてはこの形の中で進めていきたい。

（委員）実際の生活というよりも外から見た感じがする。地域内外の交流とかほしい。

（委員）語句についてだが、史跡の後は中点に、それから「温泉、と」に。また「連携することにより」とした方が分かりやすい。

（委員）先ほどの時間がほしいという意見と同じで、こんな形でまとめてよいものが、果たしてこれでよいのかという気がするが。

（会長）これについては市の方針の中で流れているので、塩田だけではどうにもできない。

（委員）私だけならともかく他の委員の皆さんはどうか。

（会長）前回の時もこの件はお話した。

（委員）日程の中でこういう形に決まってしまったのではないか。

- (会長) 日程について個人に諮るつもりはありません。他の委員の皆さんまとめに入っているのでしょうか。
- (委員) 時間かかってきてもかまわないということ？
- (会長) はじめに話した会議時間については結構です。2月9日答申は絶対条件ですので、他の委員さんの意見が無ければこれで。
- (委員) 日にちが決まっているので、論議少ないのは事実だが、日程的に仕方ない。答申の形は。
- (小林センター長) 午前中の城南の協議会でも、確定できないということで、内容はほぼ決めていただいて、字句等修正し、委員に送付の上意見をいただいてまとめていくということになった。全体の総合計画との整合性を図る必要もある。そんな格好で進めていきたい。1回目にも話したが、計画の内容は概念的なもので、総合計画策定後、実施計画の中で具体的に決めていくものなので、この方針については本日まとめていただければと考えている。
- (会長) 本日は全体像をまとめていくということなので、やっていく必要がある。委員の意見を取り入れながら修正していきたい。修正後のものを送っていただいて。
- (委員) 地域に住んでいる生活者の関わりが分からないが、織り込んだほうが良いのではないか。
- (会長) 字句については検討いただきたい。他になければ、全体像としてはこの形でいきたい。
- (塩田センター長)(の観光の推進について説明) 溜池、別所線、ルートへのアクセス、世界遺産などをキーワードとして、原案を修正したものです。
- (会長) 委員の意見をかなり反映したと思うが、皆さんどうでしょうか。
- (委員) 遊歩道、道路整備では景観に配慮していないことが多い。塩田らしさを残したものとしてみたい。
- (塩田センター長) 土地利用の項目の中で、景観を考慮して、捉えたものとしてご理解いただきたい。
- (委員) 人と人とのつながり、住民の心の交流については、方向性に入れるよりも方針の中に心の問題、ソフトの面は入れるのが妥当だと思う。他の中には入っていないが。
- (塩田センター長) 地域内の人の交流は、7 Pの、具体的表現は無いがこの中で交流をうたいこんだつもりでいる。
- (会長) どこに入っているにしても同じといえば同じ。観光についてご意見をお願いしたい。
- (委員) 別所線のところで、「活動に」ではないかと思うが。
- (会長) 文法的に「に」に変更を。
- (委員) 満ち溢れている、というのはどうかと思う。
- (委員) 恵まれている位ではないか。
- (委員) 優しい言葉で言ったほうがいいと思います。
- (委員) 最初の案では恵まれたになっている。それに変えた方がいい。
- (会長) そのような形で持っていきたい。
- (委員) 外に向けては良いが、やはり住民ということがない。観光の推進が1番になっているが、生活については最後になってしまうのか、という気がする。
- (塩田センター長) 最後に、項目の順位付けをしていきたいと考えている。
- (会長) そのことは最後に調整したい。続けて の方へ入っていきたい。

- (塩田センター長) 3ページをお願いします。キーワードは、営農組合、収益性、松くい虫などで、松茸山の保全ということで方向性を出させていただいた。
- (会長) 塩田は緑が財産。西塩田地区では法人化して動いている。あわせて、松茸山も大きな財産で、松林を残すのは課題となっているが、ご意見をいただきたい。直接タッチされている委員の方としては、この位の表現でどうでしょうか。
- (委員) 良いのではないかと思う。
- (委員) 農業後継者の問題はどうか、活性化組合だけでよいのかという気もするが。
- (会長) 西塩田では、法人化の中で後継者問題も含めて取り組んでいる。
- (塩田センター長) 法人化だと1集落1農場だが、大規模経営の方もおり、うまく棲み分けしながら、できない方は組合の方で農地を守り、収益性を上げていく。
- (委員) 専門家に森林の活かし方、活用方法について意見を聞きたい。
- (委員) 内産材でできるだけ使っているが、価格の問題が在り、それだけでは生活できない状況がある。地域も、地産地消を理解して、生産者が生きていける形にしないといけないと思う。それで「共存共栄」ということで書かせていただいたが。
- (会長) それについては、食と農の中で地産地消を進める内容が含まれている。
- (委員) たしかに儲からないとならないが、この程度の表現で仕方ないと思われる。
- (委員) 「います」とあるが、「いる」ではないか。
- (会長) 「る」にしたい。
- (委員) 森林センターの研修の中で国産材が扱われるようになったと言っていた。中国の経済発展でみんな中国の方に行ってしまうため、日本は少し良くなってきたということらしい。間伐が大切で、赤松、杉、唐松が使われるように。表現で、松茸のためと限定してしまうのではなく、「も含め」など他も大事にしてほしい。その辺りが少し引かかる。
- (会長) それなら「保全を含め」としたらどうでしょうか。
- (委員) 市の範囲でできる方策、そのような計画があるのかどうか伺いたいが。
- (塩田センター長) 市の中では、食と農を結んでいくという方向付けにはなっている。
- (会長) この形で持っていきたいと思う。次に について説明を。
- (塩田センター長) に関し説明
- (会長) 2回の会議の中で、意見交換会、協議会をぜひ作ってほしいという声が強かった。塩田は学海ということもある。委員の皆さんいかがでしょう。
- (委員) 地域との交流とか、若い人の力を借りて、地域に還元する方策があると良いと思う。
- (委員) 少子高齢化の問題が背景に在り、それが1番の問題になっている。そういうものを地域の方針の中に入れるのか、それとも外すのか、そこらへんはどうしたら良いでしょうか。
- (小林センター長) それについては、当然総合計画の審議会にも部会があり、それはその中でかなり載ってくるもののご理解いただき、塩田地域として特にということで、まちづくり方針についてまとめていただきたい。
- (委員) 理解しました。
- (委員) 研究施設とはどのようなものか。
- (塩田センター長) リサーチの企業、農業バイオセンター、マルチメディアセンターを指すものとして考えた。
- (委員) さくら高校に来ている人が、泊まる家がない状況がある。ということも交流に

- なると思うがどうでしょうか。
- (会長) 文言についてはどうでしょうか。もしあったらまた事務局の方へ連絡していただくということで。 の地域コミュニティ施設の方に入っていきたい。
- (塩田センター長) これについては修正していません。皆さんの意見がこの中に含まれていると考えています。
- (委員) いいかと思う。
- (会長) 一応この案で持っていきたい。何かあればセンターの方へお願いしたい。他に3つ項目を追加して出したいと思っているが、新規項目で5番目の説明を。
- (塩田センター長) 土地利用について、前回文面は出させていただいていたものです。
説明
- (会長) 塩田は景観に配慮したと土地利用が望まれている。訂正等あればお出しいただきたい。
- (委員) 農業の維持は難しい。なかなか、これ、具体的な策が無い。抽象的ではいいが、採算ベースに合うものとなると、基盤を大事にしていけないと。
- (委員) こんなこと言っただけだが、これから農業はだめ。現実的には難しい。今は委託してしまう時代になっている。文面的には良い、現実はともかくとして。
- (塩田センター長) 前回看板の件で話があったが、強制力が無く難しい。地元が地域協定結んでいくしかないという難しい問題である。
- (会長) 農業で儲かるようにしないと後継者が育たない。はい、センター長。
- (塩田センター長) それから、特区の件ですが、自治体の一部でも特区は可能だということを確認しました。
- (会長) さくら高校も特区としてできたもの。うまく利用できればと思います。では、文言についてあれば後でお出しいただきたい。次に新規項目の について説明を。
- (塩田センター長) 先ほどの土地利用の関係で、事務局として、「明確に」をぼやかして表現していきたいと考えています。 の説明
福祉面は全体に関わるものとして、附帯意見の方に含めさせていただきました。
- (会長) 前回もスポーツについて入れてほしいという意見もあった。
- (委員) 文章の表現で、創造活動は地域文化活動に、創造的ということであれば自主的を主体的にしたほうが良い。地域開放の地域というのは外してもよいのでは。
- (会長) 今の意見はどうでしょうか。
- (委員) 学校開放の今の状況はどうなっているか。
- (塩田センター長) グランド、体育館など開放されている。
- (委員) 地域に限定していないので、開放だけにした方がいいという考え方です。
- (塩田センター長) 地域外しても差し支えありません。
- (会長) 他の件あれば。
- (委員) 今のいいが、塩田の要望として施設を作るとはっきり書いた方がよいのではないか。
- (委員) 環境づくりはハード、ソフト両面のもので、指導者を含めて、もちろん施設も入っている。
- (委員) この地域は自由に使えるグランドもないので。
- (会長) 「施設整備及び環境づくり」にしていきたいがどうでしょう。
- (委員) いいと思います。
- (委員) 福祉についての内容は。

- (塩田センター長) また後で説明します。
- (会長) それでは について説明を。
- (塩田センター長) について説明
生活の安全を求める内容でまとめさせていただいた。
- (会長) これは意見の中で多かったものをまとめたもの。
- (委員) 通過交通排除の意味は、そういう言葉があるんですね。
- (委員) 営業等で通過していく車両は多い。そういうものは幹線道路で、集落内への入り込みを少なくして住民の利便を図りたいということです。
- (委員) この文だと飛躍があって分かりにくい。
- (委員) 包含されると思うが、知事代わったからいいと思うが、外環状の促進をと書いたらどうか。
- (塩田センター長) 幹線に入っているということですが。
- (委員) 具体的に入れるのはどうか。
- (小林センター長) 各地域では、具体的に入れていっているところもある。研究させていただきたい。
- (会長) 他にどうか。直すところは直して、何かあればセンターの方へ。
- (委員) 更には漢字で良いか。
- (委員) 間違いではないが、最近ではひらがなが多い。先程の別所線の件だが、両方とも意味がとれるので間違っていない。「として」の後に「、」で区切ってはどうか。
- (委員) 進めますとあるが、誰がやるのが書かれていないが。
- (塩田センター長) 行政と地元の協働でということでご理解いただければ。
- (委員) 主語がなかったもので。
- (委員) これは地域分権型で、取り組むものとしてはこれでよいと思う。
- (委員) 我々の意思表示となるものだ。
- (委員) 塩田の地域はこのようにしたいということでは。
- (委員) 森林レクリエーションで市民のニーズはあるということか。
- (塩田センター長) 森林浴、散策とかの要望があるということで表現した。
- (会長) 修正すべきところは直していきたい。全市的なものは附帯意見としていくが、その説明をお願いします。
- (塩田センター長) 附帯意見について説明
- (会長) 皆さんの意見をまとめたもので、観光については地域別の方に含めて抜かしてある。ご意見があれば。
- (委員) 良くまとめていただいている。要援護者のところ、高齢者だけでなく障害者含めて検討、まとめていただければありがたい。
- (会長) 字句について検討してほしい。
- (委員) 一つお聞きしたいのは、答申後の段取りというか、スパンについてどうなるのか。
- (小林センター長) 2月9日に市長にまとめて答申いただき、それを受けて総合計画の審議会、60人の委員がいるが、答申後の次回の審議会の中で地域まちづくり方針についても御議論いただく。部会、全体会議後、今年の9月議会に上程していきたい。総合計画は議会の議決が必要となるもの。それで最終的に計画策定がされ、具体的事業は実施計画で位置付ける。実施計画は3年ローリングで毎年見直していく計画。財源も検討の上で、それを元に予算を要求していく。優先順もあり、事業化されるまでに各々の過程がある。パブリックコメントも制度化していきたい

- い。広範な人の意見を求めていきたいと考えている。
- (委員) 附帯意見だが、地域方針の項目 や の中に入っているのも良い内容という気もします。
- (塩田センター長) 確かに含まれるものもあるが、全体の中で、大きな全市的にとらえていく中で、計画が作成中なので附帯意見とした方がということです。
- (委員) 介護施設は病院に含まれていないが。
- (塩田センター長) 直接含めていないが、「等」の中で考えていきたい。
- (委員) 近所で困っている人が多い。等でも表現してほしい。
- (委員) 全体の文章の中では介護施設が入っている。これは塩田の意見として考えてよいか。
- (塩田センター長) そうということです。全体にかかる意見を附帯意見としていきたい。
- (委員) コミュニティ施設の整備に、地元の意見を取り入れられるのかどうか。
- (塩田センター長) 全体像についてはこの協議会に提示していきたい。
- (委員) 福祉施設も取り入れられるのか。
- (塩田センター長) 母子健康センター機能を含めた施設として考えている。
- (会長) 他にございますか。次に順番付けをしていきたい。このままでも良いですか。
- (塩田センター長) 項目は横並びだが、ポーズとしてできるのなら順番付けをお願いしたい。
- (委員) センターが基本だから 1 番に。予算付け順位としては 1 番でお願いしたい。
- (会長) 他に。
- (委員) 地域の方向性の内容からだと観光がトップではないか。
- (委員) 具体的課題はセンター整備が 1 番、地域自治センター構想からいっても 1 番でも良いのでは。
- (会長) それではコミュニティセンター整備を 1 番で持っていきたいのでお願いします。次に (2) の議題に入っていきたい。
- (塩田センター長) 全体的な課題について協議する連絡会議がこの 1 8 日に開催された。全体会の会長には、川西協議会の宮下会長、副には丸子協議会の片桐会長が選出された。その席上、委員名の公表について協議いただき、反対、賛成両方の意見があったが、原則として公開というのが事務局の考えだが、各地域協議会でも議題として協議をお願いしたい。
- (会長) 委員の皆さんのご意見は。2 回目の会議ではどちらとも言えないということだったが。
- (委員) 地域の為に議論しているので当然公表、ただし、内容的に公表できない場合も考慮して。
- (委員) 同じ意見です。
- (会長) それではそんな形でまとめてよろしいでしょうか。(委員から異論なし) その他についてセンター長から。
- (塩田センター長) 地域協議会委員の全体の研修会をやることが決定されている。3 月 1 5 日 (木) 午後 2 時から、上田創造館文化ホールということで、通知については後日郵送で。
- (会長) 次回の会議について
- (塩田センター長) 日程は未定です。1 月に 2 回開催したので、市からの案件があれば 2 月になります。なれば 3 月に持っていきたいと考えている。

(会長) ということをお願いしたい。委員から、次回の会議は夜にしてほしいという希望が出ていますが、どうでしょうか。

(委員) 時々は夜をお願いしたい。

(会長) 昼、夜交互くらいでどうか。

(委員) 内容によるのではないか。時間がかかる場合は昼の方が良い。

(会長) では、内容と合わせて決定していきたい。

(塩田センター長) 委員報酬の源泉徴収票配付について説明

(会長) 会議時間が予定より若干オーバーしたが、ご苦労様でした。